

様式1 地域就農・定着応援プラン

加西ぶどう生産地域就農・定着応援プラン

作成年月日 平成31年1月29日
(改訂年月日 年 月 日)

チーム名	加西ぶどう生産地域就農・定着応援チーム
------	---------------------

地域の概要

加西ぶどう生産地域はこのようなところです。

1 位置

加西市は兵庫県のほぼ中央、播州平野の北東内陸部に位置しています。ぶどう生産地域は、6か所ある生産団地を中心に市内全域に渡っています。

2 人口

ぶどう生産地域である加西市全域の人口は約4.5万人です。

3 気候

加西市は瀬戸内式気候に属しており、年間平均気温は15度前後と1年を通して温暖な気候です。気温の年較差・日較差が大きい内陸型の特徴をあわせ持っているため、農産物の生産に適した地域です。

4 加西ぶどう生産地域の農業

加西市は太古から稲作を中心に人間の生活が営まれてきた地域で、約1300年前に朝廷の命で編纂された「播磨国風土記」にも多くの記述が残されています。

地域には 大河が流れておらず古来水の確保に苦労してきましたが、先人は多くのため池を作ることで農業用水を確保し、災害の少ない安定した気候の中で農業を発展させ、県内有数の米どころとしての地位を確立しました。

そのような中、新たな農業育成のため、昭和30年代後半から50年代にかけて、丘陵地を活用して大規模なぶどう生産団地を造成しました。現在では当たり前となった大粒ぶどうの種なし化技術はこの加西市で確立されました。

5 観光

法華山一乗寺、兵庫県フラワーセンター、青野運動公苑、古法華自然公園、鶉野飛行場跡、北条の宿（古い町並み）、気球のまち etc

地図



加西ぶどう生産地域ではこのような品種を生産しています

1 主要産品

- 加西ゴールデンベリーA（マスカット・ベリーA）

昭和30年頃に始まった加西市のぶどう栽培は、様々な苦難を乗り越えた後、「マスカット・ベリーA」の種をなくして成長を早め、果粒を大きくするジベレリン処理を導入する技術を確立しました。

種のない「マスカット・ベリーA」となったため、「種なしベリーA」と

呼ばれるようになりましたが、昭和49年「ゴールデンベリーA」と命名されました。

「加西ゴールデンベリーA」は、果粒が大きくとても美味しいということが評判になり、市内の栽培団地が拡大し県内有数の産地となりました。

さらに、雨除けポリ一部被覆、芽袋栽培、加温、無加温栽培、簡易ハウス栽培等、より美味しく、品質の高いぶどうを生産するための独自の栽培方法が次々と考案され「加西ゴールデンベリーA」の栽培は益々安定しました。

このような生産者の努力が実を結んで、いつの間にか「加西といえば『ぶどう』、『ぶどう』といえば加西」と言われるようになり、「加西ゴールデンベリーA」は、加西自慢の特産品として、市のシンボリック的存在となりました。

・ ブラックビート

「加西ゴールデンベリーA」は攻勢を極めたものの、ピオーネ、藤稔などの大粒系品種の人気が高まるにつれ、ぶどう生産地域では「ベリーA」からの改植が進んでいきました。そのような中、市場出荷向けの品種を育成しようと、新たな品種「ブラックビート」を推進することになりました。早生品種で粒が大きく房がしっかりしており日持ちもよい「ブラックビート」は、出荷に向いているため、若手生産者を中心に改植を進め、市場出荷を開始してから3年が経過しました。

2 収入の目安

経営形態にもよるため一概には言えませんが、加西ぶどう生産地域で活躍している新規就農3年目Aさん（28歳）の事例です。

栽培品目 ぶどう、経営面積 50a、農業所得 200万円

求める新規就農者

加西ぶどう生産地域ではこのような新規就農者を募集しています

- ぶどうをこよなく愛しぶどうに人生を捧げる覚悟のある方
- 加西市に住み、農業や地域活動を通じて地域を盛り上げてくれる方
- 特産化を目指すブラックビートを栽培する方
- 生産者との交流を積極的に行い、自己を高める意欲のある方

【部会等の活動】

- 加西市ぶどう部会の総会、研究大会、視察研修など
- 北播磨プラチナぶどう青年部の視察研修など
- その他、県や市が開催する各種行事など

就農者への支援

行政・JA・生産者のサポートが充実しています

- 約20年前から新規就農者の受入れを行ってきた加西ぶどう生産地域。行政（市、県）、JAのサポートはもちろん、新規就農の先輩も多く、相談体制が整っています。
- 国や市の制度を活用し、就農される方の技術習得度に合わせた研修をお勧めできます。
- 市、JA、県、農業委員会が「加西市新規就農促進協議会」を組織し、最善の受入れができる体制づくりをしています。

加西ぶどう生産地域での農地確保や施設整備支援

- 市、県、JA等の関係機関が情報共有しながら、空き園を斡旋します。
- 加西市独自の新規就農支援により、ぶどう棚の整備に対して50%を補助します。
- 加西市独自のぶどう生産推進事業により、ぶどう棚の改修（30%）及び苗木の新植、改植（50%）を補助します。

その他の支援

- 国、県の補助事業とともに市独自の新規就農支援制度も活用して、就農される方に最適なサポートプランをご案内します。
- 農地及び住居の斡旋など、農業に限らず生活全面のサポートを市及び関係機関が連携してサポートします。

加西ぶどう生産地域からの写真・メッセージ等



加西ぶどう生産地域の就農に興味を持った方はこちらにご
連絡ください

加西市新規就農促進協議会（加西市農政課）

にお電話ください。（担当：河村・船瀬）

電話 0790-42-8741

メール nosei@city.kasai.lg.jp

（参考）加西市HP

<http://www.city.kasai.hyogo.jp/03sigo/12gofa/12gofa00.htm>

役割分担

<p>加西市ぶどう部会 各生産団地役員 担い手</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 農業体験サポート • 農地確保のサポート • 技術指導
<p>加西市・JA (加西市新規就農 促進協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 就農相談窓口 • 農業支援制度、移住支援制度の情報提供、調整、実施 • 応援チームの事務局
<p>区長・農会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 住居確保のサポート • 地域の受け込み支援（地域行事への参加案内など）
<p>加西農業改良 普及センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 技術指導 • 農業支援制度の情報提供、調整、実施